

去年の冬のこと。我が家にコロナウイルスが到来し、家族6人での自宅隔離生活を強いられました。短いようで長い1週間。初めは互いに励まし合って過ごしていたものの、個室のない我が家では次第に狭い空間での緊張が高まり、衝突が絶えなくなりました。そんな時、私は宇宙飛行士の野口聰一さんの言葉を思い出しました。

47歳、4児の子育てをしている父親です。常日頃、子ども達には、身の丈に合った行動を大切にしつつも大局観を大事にして生きていくってほしいと感じています。

インタビュアーの質問に野口さんは笑顔で、「そんなことないですよ」と答えていました。

「実際に気が合わない人もいるし、衝突はあります。それぞれ問題解決の仕方やストレスの消化方法も違います。ただ言えるのは、誰一人欠けても、国際宇宙ステーションが運営できないとそれぞれが理解していく、『全員で生きる!』と腹が据わっていれば、自然と衝突は小さいものになります

間に半年以上、人種も宗教も哲学も違う人達と過ごす宇宙飛行士達。必須スキルとして、そんな環境でもストレスを感じないぐらい哲学とか勉強しているのですか?」

よう！」ふ
週間を何と
乗り切ること
ました。
愛情ホル
モン。妊
娠。脳内物
質。シン。
の女性に各
れていって、
と関係性の
ホルモン。

し、ストレ
しないので
しかしたこ
で『逃げて
か思つてい
しろストレ
れるのかち
ですね』
家族に、

宇宙船と脳内物質

飯田理一郎

田船と才
かりそうに避けるこ
んなで生き

レスは生ま
じよ。も
う、どこか
られる』と
いる。む
しれない

脳内物語、食欲に高まる効果、感じます。

ていまし
の研究の
若男女間
ているこ
ました。

たが、昨日
成果で、老
高わず分泌
ことが分か

仲めどをいに充あも 目か
バツク 建築 うになしけて重くこと 線引きの事実と仲間 本能に起こさ
飯一

間と仲をしきをし、者に政治的作用が排他的な作用がありま
さういふ性質の深さを示す。このことは、たゞ日本に於ける事実であつて、他の國々では、必ずしも同様の現象が現れるとは限らない。

この事実が発生する二
えると紹介

間以外の線、仲間でな
撃的になること
になるとい
うことがあ
した。

番紹攻 分う 球号」
銀河に、太陽の周囲は言葉を

人々人類は、旅路の中でついに地球で身の丈を大きくして、子ども未来を歩ん

「は「宇宙
という有
を残しまし
は365日

いんで多 いをと願ひて平地にたなちし和す。命舞わ中東今
30にソのし人空く螺億周
終換ンこた類間よ旋年巡

い 2 の 同 時 で た。名 船
て 2 川 で 太 な 地
すい 「命」 夫 妻 港 日 き すい

もヨーロッパでは、戦化され、多くの人が失われて世界を願ひ人道を伴つて世界を運んで、杉原夫妻の寄り添いながら多くの和な世界の見えたらと考えます。この方に日本だけをす。

、と感じて
たる11月
午前11時
公園で杉原
顕彰碑・碑
のビザ希望
が開催さ

がつ紙にさの生えてに彩り始ノのたにぶもな林

いま
日から5時か
原千歳前碑皇室